

# ジャパンプラブ

NEWS LETTER

Japan Club : 1759 Sutter Street #203, San Francisco, CA 94115 • Tel: 415-931-9424 • www.jpclub.org • jc-sf@sbcglobal.net

## 8月度理事会報告

## 猪俣 弘司総領事、石動 明領事を迎えて 和やかな雰囲気の中、第17回定期総会開催される 次の世代へのバトンタッチが今後のテーマに!

ジャパンプラブ8月度理事会は3日水曜日、上野正安会長はじめ10名の理事が出席して開かれました。冒頭大隅敏男副会長から先日開かれた第17回定期総会の報告がありました、「23名の参加のもと総ての議案も滞り無く承認され引き続き開かれた懇親食事も和やかな雰囲気の中会員相互の親睦の為に楽しい時間を過ごす事が出来ました。」(詳細は関連記事参照)また沖山泰彦会計理事からは同日の会計報告がありました。

この後、今回のメインテーマでもある「新しい世代への継承」もふまえての催し事への一般会員の参加を促す為の方策を話し合う、

- ・理事と会員との連携を深める
- ・一般会員のモチベーションを高める、この為一般会員にも種々の役割分担をお願いする
- ・今迄続いている各種催事のあり方、開催方法等を考える(既に新年会については皆さんにお願いしております)

等が必要でしょうとの意見がありました。

引き続き総会で承認された新年度理事による新役員の選出が行なわれ出席理事の互選により次のように決定されました、一年間どうぞよろしくお祈りします。(敬称略)

会長	上野 正安	再任	
第一副会長	福光 哲史	再任	
副会長	大隅 敏男	再任	大槻 悦子 新任
会計	沖山 泰彦	再任	
会計補助	柏原 紀子	再任	
会計監査	後藤 哲男	再任	
事務局長	古田 紘一	再任	
催事担当	北 哲也	再任	
広報担当	福光 哲史	再任	浦田 伸夫 再任
ニュースレター担当	古田 紘一	再任	浦田 伸夫 再任

### 今年のピクニック、9月11日(日) 参加申し込み用紙が同封されています、 至急お申し込み下さい

日程が未定だった今年のピクニックは、北哲也理事の尽力で去年と同じサンマテオ・コヨーテポイントにおいて9月11日(日)行なう事を正式に決定すると共に当日の実行委員長に赤川稔理事をアシスタントに大槻悦子理事、アドバイザーに前年担当の北理事を決め9月6日(火)を締め切り日とし今月のニュースレターに参加申し込み用紙を入れ発送する。9月7日の理事会において参加人数等確認の上食材調達等の詳細を決める。



・総領事を囲んで  
・総会会場  
写真提供:  
大隅敏男さん



ジャパンプラブ第17回定期総会は7月23日(土)午前11時から総領事館から猪俣総領事と石動明領事を来賓に迎え大隅敏男副会長の司会で開幕した。

まず、上野正安会長から「新年会やガレージセールなど毎年催しているイベントも好評で、加えて今年は東日本大震災への義援金募集にも多くの会員の協力で4,500ドルを総領事館を通じて被災地に贈る事が出来、会員同志のコミュニケーションも年々密になって来ている事を実感しておりますがジャパンプラブも設立して早くも17年目に入り発足当時の会員も年を重ねて今後は如何に第二世代にバトンタッチするかが大きな課題でこれをクリアーするため会員の皆様と話し合いながら対応策を考えて行きましょう」との主旨の挨拶がありました。次いで来賓の猪俣総領事からお言葉をいただき(別記)上野会長を議長に議事に入りました。

最初は大隅副会長から2010年度の事業報告そして2011年度の事情計画が次いで沖山泰彦会計理事による2010年度の会計報告及び新年度の予算案がそれぞれ報告されこれを承認されました。(2010年度の事業報告、2011年度の事情計画並びに2010年度の会計報告、新年度の予算案の詳細をご希望の方は事務局迄お問い合わせください)

又会計監査の後藤哲男りじから、今後決算面での収入増を計るためさらに会員を増やす事が必要だとの問題提起があり、今後理事会において対策を協議する事を決めました。

議事の最後の案件、「新年度の理事選任では上野議長から2010年の理事15名の留任提案が出され次の候補者名を挙げ、拍手の中承認されました。

新年度理事は次の皆さんです(ABC順、敬称略)

赤川 稔	福光 哲史	古田 紘一	後藤 哲男
広 久寿	今井 利和	柏原 紀子	北 哲也
大隅 敏男	沖山 泰彦	大槻 悦子	下村 昌子
榎木 隆子	上野 正安	浦田 伸夫	

尚、会長以下役職担当者は8月の理事会に於いて理事の互選で決められます(別記の通り決定されました)

和やかなうちに総会に提案された総ての議案審議を終え懇親会迄の小休止となりました。尚、第17回総会出席者は招待者を除き22名、委任状の提出者は18名で総会は成立しました。

小休止の後にはバスク料理をメインとした料理を味わいながら午後2時迄、会員同志の絆を改めて強める絶好のチャンスを楽しんでいただけました。

定期総会には出席出来なかったウォルシュ・文子さん、青柳伸之さんからチェックが、大隅敏男さんから高級ワイン、総会のテーブルを飾った美しい生花持参の浦田伸夫さんご夫妻、以上の方々からのドナーネーションがありました、ありがとうございました。

### 猪俣弘司総領事のお話(要旨)

「昨年9月に着任し、ジャパンプラブ新年会にご招待をいただきながら公用で出席出来ず、皆さんにお会いするのが遅くなって申し訳ありませんでした、総領事館は在留邦人の保護が一番の目的で、その点ジャパンプラブには日頃から協力をいただいております。又此度の東日本大震災では大変ご心配をおかけすると共にジャパンプラブの会員の皆さんから多額の義援金を寄せられお礼申し上げます。総領事館は日本政府の出先機関でもありこうした時如何に適切な情報をお伝えするかは私達の使命で、現在メールアドレスを総領事館に登録いただいている方へは必要な情報を流させていただきました、ジャパンプラブのニュースレターに石動領事が掲載させていただきますが情報伝達の方法を広く知っていただき、いざと言う時に備えたいと思っております、今後さらに良い情報伝達の方法や、いいアイデアがあれば教えていただきたいと思います」



・ 特 ・ 別 ・ 連 ・ 載 ・

# 「災害に対する心構え」を考える

特別連載も第4回を迎えました、これをもって予定された連載は一旦終わりますが今後も会員からの質問や新しい情報が入りましたら其の都度掲載します、今回は6月号に続いて米国赤十字社の長江美月さんの紹介でインターンの伊賀友美さん(早稲田大学)、田中唯さん(上智大学)のお二人から「災害に関する知識を身に

つける」のテーマで前回の「防災グッズ」に続いて「災害発生時の対応」についてお寄せいただきました。

今迄の連載について、あるいはそれ以外の事柄でご質問、ご意見がありましたらぜひお寄せ下さい、ご質問には会として調べてお答えいたします。



## 災害発生時の対応について

この原稿は米国赤十字社インターン:伊賀友美さん、田中唯さんからいただきました

### 災害に関する知識を身に付ける その1

防災計画を立てることができたら、次は災害についての知識を身に付けましょう。一口に災害と言っても、その種類は様々で、それぞれの災害に応じて私たちの対応の仕方も変わってきます。事前に各災害についての知識を身に付けておきましょう。

#### ①地震

室内:身を伏せ、丈夫な家具の下に避難、または頭を守り、待機する  
屋外:建物や木から離れて、身を伏せ、頭を守り、待機する  
車内:車を寄せて駐車し、頭と首を守る

#### ②火事

すぐに外に避難する。ドアが熱くなっていないかを確認してから開け、煙の中は伏せながら移動する

#### ③津波

揺れが収まったら直ちに内陸部、または高所へ向かう。  
乗船中は、外海で待機する

#### ④化学汚染、空気感染

ドア、窓、換気口を全て閉め、鍵をかけ、屋内に留まる

### 津波に対する POINT!!

- ・ 20秒以上揺れが続く場合や、異常な速度で水位が上昇、または下降する場合は要注意
- ・ 地震発生後数分以内に発生し、破壊的な威力を持つ
- ・ 2度、3度と繰り返し同じ地域を襲う
- ・ 地方公共団体の指示に従い、内陸、高所へ向かう
- ・ NOAA Weather Radioや Coast Guard Station等で最新情報入手し、指示が出るまでは自宅に戻らない

### 災害後の対策

- ①怪我の程度を調べる
- ②ラジオを聴く (740 AM, 810 AM, 88.5 FM in the Bay Area)
- ③自分の居る場所を点検する

**大地震の発生によってこの様な施設が大きな被害を受けるものと予想されます (参考表)**

施設の種類	高い確率で被害を受けると予想される施設の数	予想されるおおよその被害施設数の割合
病院	76	75%
消防署、警察及び地域政府機関	2970	73%
小学校	987	71%
中学校	164	68%
高等学校	233	70%
短大、大学	62	78%
インターチェンジ	2721	65%
地下鉄(BART)	95マイル(150km)	80%
道路	18963マイル(30,350km)	55%

情報提供: Associations of Bay Area Governments, 2005  
表の数字は、マグニチュード6.7以上の地震が起こった場合の推定です

### 災害に関する知識を身に付ける その2

では、ここで実際に強度の地震が発生した場合の被害を見てみましょう。左下の表は今後30年間に実際に地震が起こった時の被害予想です。

このような最悪の自然災害、そして被害を想定して、日頃から緊急時に備えた対策や情報収集を行いましょ。今回ご紹介した災害計画や対処法の他に、赤十字では少なくとも一世帯に1人は、緊急事態に備えて応急処置や心肺蘇生法を身に付けることをお勧めしています。地域、職場での講習会や、家族で学べるオンラインコースなどを、赤十字(www.redcrossbayarea.org.)や他の団体が提供しています。救命法の特別講習会にぜひご参加ください。

**皆さんの命を救うのは、皆さん自身です!**

#### ・事前に計画する

- ①連絡手段を決める  
混乱を避けるため、遠方地域に連絡の中心となる人を定める
- ②集合場所を決める  
災害の規模によって、自宅周辺と、少し離れた場所に1つずつ集合場所を決める、学校や職場など、緊急時に避難できる場所を把握しておく
- ③避難経路を把握する  
自宅周辺の避難経路と方法、交通手段を確認する
- ④ペットのための計画を立てる  
災害時にペットが一時的に避難できる場所を探しておく(友人宅、獣医、ペットホテルなど)
- ⑤計画を見直し、避難訓練を行う  
年に1度以上は計画を見直し、実際の災害を想定して避難訓練を行う(実際に集合場所に行く、連絡先に電話をかける、避難経路で訓練する)
- ⑥危険回避をする  
部屋の中に怪我や火災の原因になるものはないか、簡単なセルフチェックをする

このように80%近い病院や消防署、警察署が地震による被害を受け、小中学校や大学の校舎なども高い割合でダメージを受けると予想されます。また、橋やベイエリア内を走るBARTや道路そのものが破壊されてしまうと推測されています。いずれの場合も、強度の地震により大混乱が予想され、病院や消防署からの十分な救援や支援を受けることが大変難しくなるでしょう。

6月号では防災グッズについてご紹介しましたが、実際に自然災害に見舞われた際、パニックに陥ったり、自分がとるべき行動を見失わないためには、事前の計画が最も重要です。防災グッズを最も有効に活用し、災害時に迅速かつ冷静な判断と行動をするために、今回は(1)事前に計画する、(2)災害に関する知識を身に付ける、についてご案内しました。

## ジャパングラブ・ゴルフ大会 報告

7月31日の親睦ゴルフ大会は暑からず寒からずの絶好のゴルフ日和に恵まれ石動領事のご参加と上野会長のご努力により赤門会員2名の助っ人を得て12名で和気藹々楽しく時を過ごしました。

此の度柏原紀子さんからの賞品のご寄贈があり、参加者全員に賞品を上げる事が出来ました。柏原さんありがとうございました。

順位	お名前	GLOSS	HD	NET
1位	上野	97	26.2	70.4
2位	今井	77	5.6	71.4
3位	沖山(夫人)	87	15.4	71.6
4位	三好	96	23.8	72.2
5位	赤川	96	23.8	72.2

上位5名の成績は囲みの通りです、名手の大隅さんは Gross 78 の好成绩でしたが HC が 2.8 と算定された為上位に入れず残念でした、これがダブルペリエーの面白い所です。(大会参加者一写真提供:大隅敏男さん)

